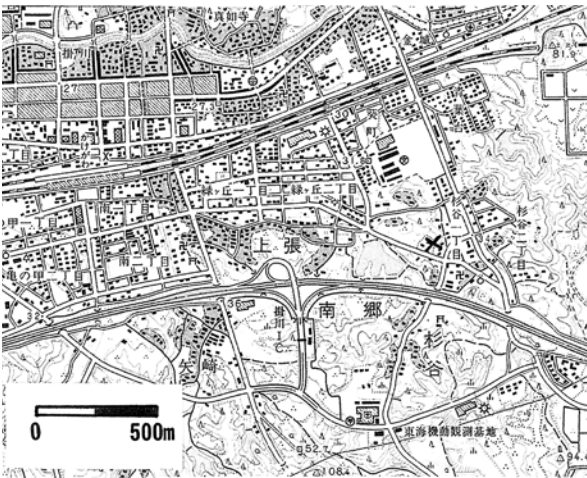


W020 掛川市杉谷の掛川層群宇刈層露頭（静岡県GEO  
DATA(15)：地学散歩(94)）

著者	白井 久雄
雑誌名	静岡地学
巻	114
ページ	ii-ii
発行年	2016-11-23
出版者	静岡県地学会
URL	<a href="http://doi.org/10.14945/00024539">http://doi.org/10.14945/00024539</a>

W020 掛川市杉谷の掛川層群宇刈層露頭



国土地理院 1 : 25,000 掛川

するものが10層ある。下底面は明瞭で、塊状である。層厚20cmを有する砂質シルト層では二枚貝化石が観察できる。露頭の東側3か所では断層が観察できる。

露頭は高さ約5m。走向はN 42° W、南西に6°前後傾斜している。黄褐色～茶褐色を呈する極細粒砂層と暗灰色～暗青灰色を呈する砂質シルト層との砂泥互層が観察できる。極細粒砂層の層厚は2～10cmのものが多いが、層厚25cm～42cmを有するものが5層ある。下底面は浸食を示す。極細粒砂層では、平行葉理、波状葉理、斜交葉理が観察できる。さらに平行葉理にそって二枚貝化石が並び、基底部に貝化石が密集した産状を示す。その他、木片化石や細礫サイズの軽石が観察できる。砂質シルト層は、10～20cmの層厚を有するものが多いが、層厚24cm～40cmを有するものが10層ある。下底面は明瞭で、塊状である。層厚20cmを有する砂質シルト層では二枚貝化石が観察できる。露頭の東側3か所では断層が観察できる。(白井久雄)